

貧酸素水塊速報 (2015年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
 神奈川県水産技術センター 内湾底びき網研究会連合会
 【協力】 千葉県環境研究センター ○ 東京都環境局
 第三管区海上保安本部 ○ (独)国立環境研究所
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

平成27年6月1～2日観測結果

貧酸素水塊は市原地先から内湾中央部にかけて分布しており、一部の海域では強く貧酸素化した水塊も見られています(図1)。

縦断ラインの鉛直分布では、溶存酸素量2.5ml/L以下の水塊の厚みはまだ薄く小規模です(図2, 3)。

水温は表層は20～22℃、底層は15～21℃です。

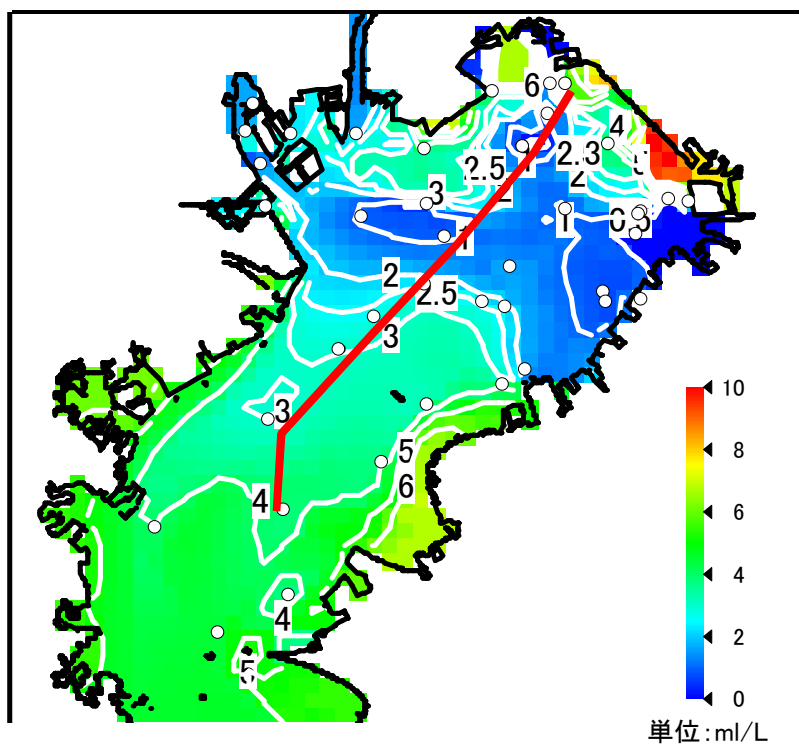


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

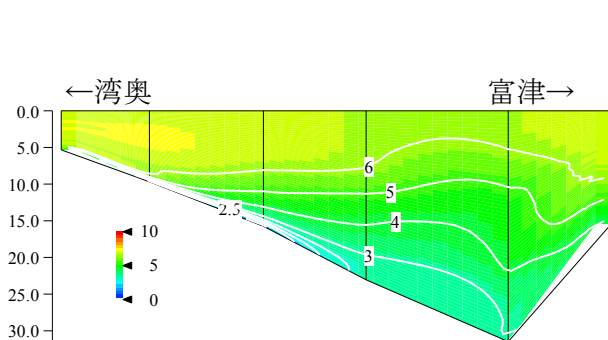


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

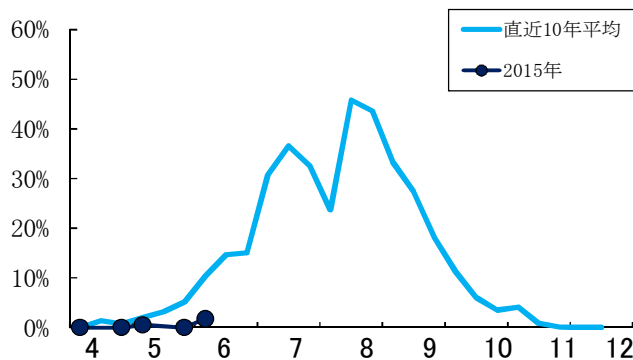


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)